

家庭科（家庭総合）学習指導案

指導者

- 1 履修単位数 2 単位
- 2 実施日時 令和6年9月18日（水） 5 限目
- 3 学級 2〇HR（17名）
- 4 使用教科書 家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍）
- 5 単元名 共に生き、共に支える
- 6 単元設定の理由

ライフステージを見通して、家族・家庭の生活課題を主体的に解決していくためには、福祉や社会的支援が必要不可欠である。年齢や障害の有無に関わらず、それぞれの有する力を生かしながら共に支え合う社会を実現するためには、家庭や地域がどのようにつながり支え合ったらよいのか。そして、多様なニーズをもった人々が、個性を生かしながら共に支え合って生きる社会をつくるためには、どのようにつながり支え合ったらよいのかを考えることが、まさに共生社会を実現する第一歩である。

しかし、生徒にとっての社会は「学校」であり、学校生活の中では、同じような年代、同じようなニーズなど、多様性を感じる機会が少なく、実社会とのつながりを感じる経験が乏しい。そのため、共に支え合う社会の一員として、よりよい家庭や地域、社会の生活を創造したいという気持ちをもった生徒も少なく、本学級の生徒も例外ではない。

そこで、リスクに備えることや社会保障の考え方などの学習を通して、社会が共生の仕組みで成り立っていることについて学ぶとともに、社会的包摂の視点から、誰もが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会をどのように協力・協働して実現していけばいいのか考え、行動できるようにしたいと考え、本単元を設定した。

7 単元の目標

- (1) ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。
 - ・家庭と地域との関わりについて理解するとともに、高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支え合って生きることの意義について理解を深める。
- (2) 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について考察し、様々な人々との関わり方を工夫する。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

8 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 ・家庭と地域との関わりについて理解しているとともに、高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支え合って生きることの意義について理解を深めている。	家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもち、様々な人々との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。

9 指導と評価の計画（6 時間）

第1次	私たちの生活と福祉	2 時間
第2次	社会保障の考え方	2 時間（本時 1 / 2）
第3次	共に生きる	2 時間

	ねらい・学習活動	評価の観点			評価規準・評価方法
		知	思	態	
第一次	・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について知り、家庭と地域の関わりについて理解する。 ・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもち、様々な人々との関わり方について課題を解決する力を身に付ける。	●	●		・福祉や社会的支援、家庭と地域の関わりについて理解している。（ワークシート） ・様々な人々との関わり方について課題を解決する方法を考えている。（ワークシート・発表内容）
第二次	・生涯を通して、家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。 ・社会保障が果たす役割について考えをまとめ、発表する。 ・国・地方自治体の制度などの支援体制や支え合いの構造を活かし、共に支え合う社会を実現に向けて課題解決を図る。	●	●	●	・社会保障について知り、福祉や社会的支援の重要性について理解している。（ワークシート・発表内容） ・社会保障の重要性について考えをまとめ、論理的に表現することができる。（ワークシート・発表内容） ・共に支え合う社会の実現に向けた課題解決を図るために実践しようとしている。（ワークシート・行動観察）
第三次	・様々な人々が共に支え合って生きることの意義について理解を深めることができる。 ・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもち、様々な人々との関わり方について課題を解決する力を身に付けることができる。 ・共生社会の実現に向けて、個人や地域の役割を果たそうとしている。	●	●	●	・多様なニーズに応じた支え合いの必要性について理解している。（ワークシート・発表内容） ・様々な人々との関わり方について課題を解決する方法を考えている。（ワークシート・発表内容） ・多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、考え行動しようとしている。（ワークシート・発表内容）

1 0 本時の指導目標

共生社会の実現に向けて、社会保障の役割や重要性について考察することができる。
(思考力、判断力、表現力等)

1 1 本時の展開

時間 (分)	学習活動	指導上の留意点	学習活動に おける具体の 評価規準	評価方法
導入 (5分)	・前時の振り返りをする。 ・本時の学習内容と目標を把握する。	・前時に生徒が記入した MetaMoji ClassRoom を用いて社会保障は「共助・公助」であることを意識させる。 ・本時の学習内容と目標を説明する。		
共生社会の実現のために、社会保障の役割を考えよう。				
	・社会保障の仕組みについて知る。	・生徒にとって身近な例（公的医療保険）で説明し、自分事として捉えさせる。		
展開 (40分)	・年金についてのクイズに取り組む。 ・班で年金について調べ、MetaMoji ClassRoom にまとめ、発表する。	・Kahoot! を利用してクイズを行うことで難しいイメージをもたせないよう工夫する。 ・社会保障の役割・重要性や共生社会に向けた解決策について考えるように促す。	・共生社会の実現に向けて、社会保障の役割や重要性について考察している (思考・判断・表現)	・行動観察 ・発表内容 ・MetaMoji ClassRoom のシート

まとめ (5分)	・ 本時の学習を振り返る。 ・ 本時の感想を記入する。	・ 年金制度以外にも、社会保障は、すべての人のリスクや問題に対して、社会全体で支える仕組みであることを説明する。 ・ 自分の生活と関連付けて記述させる。		
-------------	--	---	--	--

評価の 観点	A（十分満足できる）	B（おおむね満足できる）	C（努力を要する）
思考・ 判断・ 表現	社会保障の役割や重要性について考察し、共生社会の実現に向けて、解決策を構想し、自らの生活改善につなげようとしている。	共生社会の実現に向けて、社会保障の役割や重要性について考察することができる。	共生社会について具体的に振り返ると共に、社会保障の内容から役割を確認し、現代の社会に必要なことを考えさせる。